

# 2022 年度事業計画書

(2022 年 5 月 1 日から 2023 年 4 月 30 日まで)

一般社団法人つくろい東京ファンド

当法人の目的を達成するために、関連諸団体・個人と連携をとりつつ、次のとおり事業を実施する。

## 1. 個室シェルター「つくろいハウス」等の運営と路上生活者支援

- 1) 各生活困窮者支援団体と連携をしながら、個室シェルター「つくろいハウス」(中野区)等の個室シェルター及びハウジングファースト住宅の運営を続ける。
- 2) 必要に応じて、個室シェルター入居者及び退所者への安否確認、福祉・住宅等の相談及び食料支援を実施し、他の生活困窮者支援団体等と連携をしながら入居者・退所者が安定した生活をおくれるための支援をおこなう。
- 3) 認定 NPO 法人ビッグイシュー基金や「中野駅前なんでも街頭相談会」等と連携し、夜回り等、路上生活者への支援を実施する。

## 2. 「カフェ潮の路」等の運営

ホームレス経験者の居場所づくり、仕事づくり及び地域住民との交流の場をつくるため、新型コロナウイルスの感染状況を踏まえながら、「カフェ潮の路」、古書店「潮路書房」を運営する。

## 3. 生活困窮者支援をおこなう各団体や個人と連携した各種支援事業

NPO 法人 TENOHASI、認定 NPO 法人ビッグイシュー基金、「LGBT のハウジングファーストを考える会・東京」、新型コロナ災害緊急アクション等の団体や個人と連携し、生活困窮者への緊急支援や生活・住宅等の支援を実施する。

外国人の生活困窮者が増加している現状を鑑み、NPO 法人北関東医療相談会等と連携し、住まいを喪失した外国人や喪失しかかっている外国人への生活・住宅支援を強化する。

## 4. 東京アンブレラ基金と「せかいビバーク」の運営

東京アンブレラ基金は事務局体制を整え、広報及び財政基盤を強化する。「せかいビバーク」は関西での展開も視野に入れて、関連団体との協議を進めるとともに、永続的に実施できる体制を整備する。

## 5. 「つながる電話プロジェクト」

「つながる電話プロジェクト」は運営体制を見直し、財政的にも持続可能な体制の構築をめざす。

#### 6. 生活保護支援申請システム「フミダン」の運営及び扶養照会問題への取り組み

「フミダン」は、利便性の向上を図るとともに、オンライン申請の他地域展開も視野に入れて、体制を構築する。

扶養照会問題については、生活保護問題対策全国会議などと連携し、運用改善の徹底、ひいては照会の完全撤廃に向けてソーシャルアクションを実施する。

#### 7. 広報

ウェブサイトや SNS による発信を積極的におこなう。紙媒体での事業報告書も作成、配布する。

#### 8. ファンドレイジング

寄付金や助成金など、事業資金を調達する体制を強化する。